



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ● 感染性胃腸炎の報告数が増加しています!!

### 感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)について

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢(白色便)、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染、吐物や便を介しての感染、または汚染された食品を食べることによる感染があります。

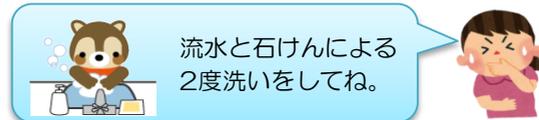
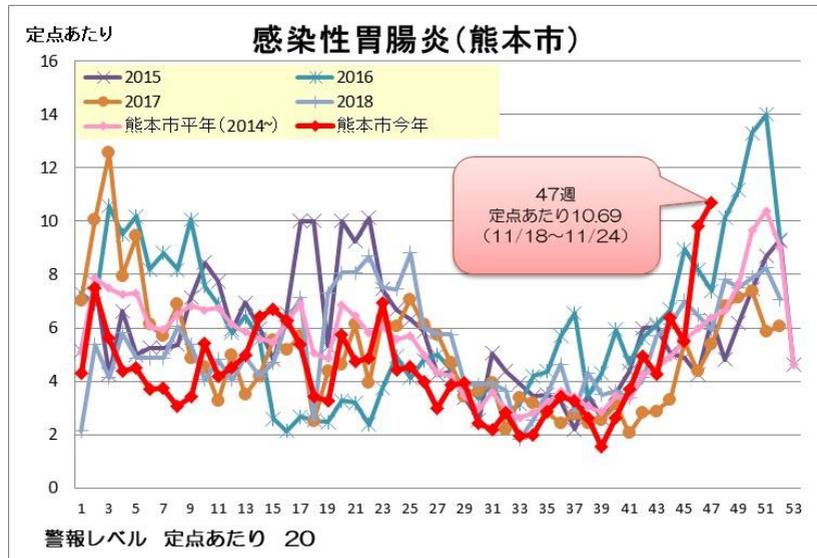
・流行期…ノロウイルスによる胃腸炎は11月~3月、ロタウイルスは2~3月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。

### ◆かかったらどうすればいいの?

- ・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
- ・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤嚥性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。
- ・嘔吐の症状がおさまったら、少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事をとり、安静に努めましょう。

### ◆予防法は?

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯等でしっかり消毒しましょう。



期 間		2019年 46週		2019年 47週	
		11/11~11/17		11/18~11/24 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ <b>流行入り</b>	↑	39	1.56	67	2.68
RSウイルス感染症	↑	3	0.19	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	→	11	0.69	10	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	29	1.81	26	1.63
感染性胃腸炎 <b>急増中!!</b>	↑	157	9.81	171	10.69
水痘(みずぼうそう)	→	4	0.25	3	0.19
手足口病	↑	3	0.19	8	0.50
伝染性紅斑(りんご病) <b>警報レベル</b>	↑	23	1.44	28	1.75
突発性発しん	↑	10	0.63	5	0.31
ヘルパンギーナ	↑	3	0.19	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑	11	2.20	7	1.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	↑	0	0.00	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00